

審判員派遣報告書

| | | | |
|---|-------------------------|---|----------------------------|
| 1 | 派遣事業名 四国社会人バスケットボール交流大会 | 2 | 派遣期日 平成28年5月7日(土) 8日(日) |
| 3 | 報告者名 山田 豊弘 (クラブ連) | 4 | 派遣先 今治市営大西体育館 |

| | | | |
|------|--|------|--------------|
| 5 | 大会概要 および 大会結果 | | |
| 大会名称 | 四国社会人バスケットボール交流大会 | 大会期間 | 2016.5.7~5.8 |
| 大会内容 | <p>今回はクラブチームと実業団チームとの交流大会とのことで、四国クラブ内のゲームより少しレベルの高いゲームとなった。男女共に5チームの総当たりで、1日2ゲームずつおこない香川県から明善クラブ、クリッパークラブ、四国電力が参加した。男子、UNITE(高知)、クリッパークラブ、四国電力、東レ愛媛、大西クラブ(愛媛) 女子、高知選抜、明善クラブ、カタリナクラブ(愛媛)、らんずクラブ(愛媛)、今治ブロッサム(愛媛)</p> | | |

| | | | | | |
|----|----------|-----------------|-----|-------------|---|
| 6 | 担当したGame | | | | |
| No | 期日 | 対戦カード | R/U | 相手審判 | ゲーム雑感 |
| 1 | 5月8日 (日) | 男子: 東レ愛媛vsUNITE | R | 谷(高知)高橋(愛媛) | 終始東レ愛媛が激しいディフェンスから得点を重ね、主導権を握るゲーム展開となり、点差も大幅に開いてしまった。 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |

| | |
|---|---|
| 7 | <p>審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の講義を愛媛全国クラブ選手権に講習生として参加した谷氏(高知)、自費講習生として参加して西氏(徳島)にお願いをして、全国大会で経験したこと、感じたことを話して頂きました。お二人が経験した様なことを県内、四国内で多くの他の審判員が経験できれば審判員のレベルアップに近づけると感じました。 ・今回の講習会では、初日より2日目に改善が見られた方が多くいました。目標や、やるべきことを具体的に意識しておこなうことで、外から見ても変化がはっきりと見えました。今後も同じような取り組みを続けて頂きたいと感じました。 県内でもこのような講習会を開催し、地元のレベルアップ、県外派遣への意欲あるクラブ連盟の審判員が増えるよう努めていきたいと思えます。 |
|---|---|

審判員派遣報告書

| | | | |
|---|-------------------------|---|----------------------|
| 1 | 派遣事業名 四国社会人バスケットボール交流大会 | 2 | 派遣期日 平成28年5月7日(土) |
| 3 | 報告者名 遠山 良輝 | 4 | 派遣先 |

| | | | |
|------|-----------------------------------|------|--------------|
| 5 | 大会概要 および 大会結果 | | |
| 大会名称 | 四国社会人バスケットボール交流大会 | 大会期間 | 平成28年5月7日～8日 |
| 大会内容 | 四国内トップクラスのクラブチームと実業団チームによるリーグ戦を実施 | | |
| | | | |
| | | | |

| | | | | | |
|----|----------|-------------------|-----|------|--|
| 6 | 担当したGame | | | | |
| No | 期日 | 対戦カード | R/U | 相手審判 | ゲーム雑感 |
| 1 | 5月7日 | 東レ愛媛ー大西クラブ | U | 堀江友希 | 序盤は拮抗したゲーム展開だったが、高さや運動量に勝る東レ愛媛が後半から地力を発揮して勝利した |
| 2 | 5月7日 | 高知選抜ー今治オレンジブロッサムズ | R | 金山祐記 | 序盤からインサイドとアウトサイド、バランスよく得点を重ねた今治が高知選抜を寄付けず快勝した |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |

| | |
|---|---|
| 7 | 審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等 |
| <p>今回の講習会に参加するにあたり、「ゲームの入りで臆することなく思い切って判定すること」「より良い位置を求めてプレーをとらえて確信を持った判定をすること」を目標と設定しました。試合後のミーティングで、リードのポジションにもっと早く入り、後ろに下がり過ぎない事、リードで右へ行くタイミングとその時の視野の当て方等のご指導を頂きました。確かにその場面で苦しい気持ちで判定をしており、今自分はどこを見に行くべきなのか、相手審判に判定を任せるべきなのかといったところを感じられる冷静な気持ちで判定する力が必要だと感じました。また、最初の試合でチームファールの確認不足により、本来与えるべきではないフリースローを与えてしまい、その後の処置としてほとんど相手レフリーに頼ってしまいました。TOの管理が不十分が原因ですが、レアなケースに対応するため競技規則・マニュアルの理解を深める必要だと痛感しました。</p> <p>このような四国クラブ連盟の審判講習会に参加させてもらい、参加メンバーの皆さんから感じた事としては、しっかりとした目標設定をしているなど感じられました。私も高齢な部類に入りますが、審判技術向上のための具体的な目標、四国クラブ選手権を担当する等、を掲げて目標に近づくために今自分に足りないものは何か、今回の講習会で学んだことを忘れずに実践していきます。</p> | |

審判員派遣報告書

| | | | |
|---|----------------------------|---|-------------------------|
| 1 | 派遣事業名 四国クラブ連盟講習会 | 2 | 派遣期日 5月7日(土) 5月8日(日) |
| 3 | 報告者名 川原 勝 | 4 | 派遣先 今治市大西体育館 |

| | | | |
|------------------------|--|------|-----------------|
| 5 大会概要 および 大会結果 | | | |
| 大会名称 | 四国社会人バスケットボール交流大会 | 大会期間 | 5月7日(土) 5月8日(日) |
| 大会内容 | 男子5チーム 女子5チームによる 二日間で総当りのリーグ戦が行われた。 男子は東レ愛媛(実業団)が4勝0敗により1位 クリッパークラブ(クラブ)が2勝2敗により2位となりました。 女子は今治オレンジブロッサム(実業団)が4勝0敗により1位 明善クラブが2勝2敗により2位となりました。 男女共に 実業団や各県1位のチームばかりでとてもレベルの高い試合が行われました。 | | |

| 6 担当したGame | | | | | |
|-------------------|------|------------------------|-----|------------|---|
| No | 期日 | 対戦カード | R/U | 相手審判 | ゲーム 雑 感 |
| 1 | 5月8日 | 大西クラブ - UNITE | U | 白石 義人(愛媛B) | UNITEがゾーンDFに切り替える際に 良いスペースを捉えるための工夫と 能力の高い選手のプレーを判定することに苦労した。 |
| 2 | 5月9日 | 聖カタリナクラブ - 今治オレンジブロッサム | R | 山田 佳奈(愛媛B) | 体格差や スピードの違いによるプレーが出た際に 正しいスペースを捉えることが出来たら 自然と判定ができた。 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |

7 審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等

【審判会議】

講義内容「全日本クラブ選手権愛媛大会を経験して」

①徳島県 西 和馬氏 による講義

- ・全国クラブ選手権のコートに立つための日頃の活動
- 県内外一つ一つのゲームを大切に 常に緊張感を持ち続けること。
- ・平日の過ごし方(ルールブックの確認やトレーニング)
- フィットネスやウエイトトレーニングなどプレーヤーの激しい動きについていけるように体を作る
- ・より高いレベルのゲームを求めて自ら足を運んだこと
- 常にプレーヤーとレフリーが切磋琢磨して お互いのレベルを向上していきナイスゲームに出来るように準備しておく
- ・いざ 全国大会に立って感じたこと(同じB級の方の立ち振る舞いなど)
- 自分の体格を似た人などを探しお手本になるような人を見つけ真似をしてみても自分の立ち振る舞いを含めたレフリーとして作り上げていくこと

②高知県 谷 隆正氏 による講義

全国クラブ選手権のコートに立つためには？

- 年間に行われている四国クラブ連盟主催の審判講習会に参加している事
- 研修会1名 自費研修生1名 計2名派遣

・審判研修会/公認審判員対象

7分間の講師シャドウを含む実技の後にミーティング

・まとめ(大会を通して感じたこと、今後の取り組みとして)

- プレーヤーファースト、ゲームに対する真摯な気持ち、判定の一貫性などとおし 信頼される審判になる

【審判技術・判定基準等に関する事】

・オンボール、オフボールに関する判定

- 自分のエリアのスペースを常日頃捉えておくこと。エリア外のオンボールの判定をせずに自分のエリアに関する予測をし相手レフリーとの連携をとること

・ゲームのスムーズな運営

- テーブルオフィシャルの管理をレフリーが協力しアイコンタクトを取り ベンチやオンコートプレーヤーに伝えること

【全体の感想および提言】

実業団、各県1位のクラブチームが集まるとてもレベルの高いゲーム、それに取り組む審判員の緊張感を肌で感じ、とても良い経験になった。一つ一つの力強いプレーに対して、審判がスペースを捉え丁寧に判定する姿を目の当たりにしたことにより、地元でもこういった緊張感を常に持ち続けていくことが大切だと感じた。目的もなく活動するのではなく、仲間を増やして意見を出し合える環境を作っていく活動が大切だと痛感した。このような貴重な経験を自分の中だけで留めておくのではなく、県内での活動の中で伝えていき、その中で自分自身も緊張感をもって日頃の審判活動を行っていこうと思った。

審判員派遣報告書

| | | | |
|---|--------------------------------|---|----------------------------|
| 1 | 派遣事業名 四国社会人 バスケットボール交流大会 | 2 | 派遣期日 平成28年5月7日(土)、8日(日) |
| 3 | 報告者名 玉井 慎一 | 4 | 派遣先 今治市営大西体育館 |

| | | | |
|------|-------------------------|------|------------------|
| 5 | 大会概要 および 大会結果 | | |
| 大会名称 | 四国社会人バスケットボール交流大会 | 大会期間 | 平成28年5月7日(土)、(日) |
| 大会内容 | クラブの上位チームや実業団のチームで交流大会。 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| | | | | | |
|----|----------|------------------|-----|---------|--|
| 6 | 担当したGame | | | | |
| No | 期日 | 対戦カード | R/U | 相手審判 | ゲーム雑感 |
| 1 | 5月7日(土) | カタリナクラブ 明善クラブ | U | 高橋 瑞紀さん | 終始、明善クラブのペースで試合は進み、激しいディフェンスからの速攻やドライブイン、外からのシュートで得点を重ねた。カタリナクラブはインサイドを中心にバスケットを展開したが、力及ばなかった。 |
| 2 | 5月8日(日) | らんずクラブ 高知選抜 | U | 三浦 健二さん | 息の詰まるような接戦のゲームだった。互いのチームとも外角シュートがよく決まり、得点を入れられては入れ返すというタフなゲーム展開が続いた。 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |

| | |
|---|---|
| 7 | <p>審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等</p> <p>開講式後の講義では「全日本クラブ愛媛大会を経験して・・・」というテーマのもと、高知県の谷隆正氏と徳島県の西和馬氏から御講話を頂いた。全国クラブ選手権のコートに立つには研修生、もしくは自費研修生に選ばなければならないこと、また、研修生と自費研修生の区分によって審判割当にも違いが生まれるということを知った。私がこれからの審判活動で真似をしてみようと影響を受けたのはゲームに入る前のプレカンファレンスのことである。相手レフェリーには自分から積極的にコンタクトを取り、多くのコミュニケーションを図ることが重要だと分かった。自分の試合よりも前に行われている試合を相手レフェリーと見て話をする事でそれが一つのプレカンファレンスになりうるということも感じた。また、レアケースへの準備をしっかりしておくことで心の余裕が全く違うことも勉強になった。</p> <p>初日のゲームでは自分がトレイルの位置にあるとき、できるだけ下まで下りようと意識していた。試合後のミーティングでは現象を見るために下りているのではなく決められているので下りているのではないかとご指摘を頂いた。目的を持つことの意味が理解できた。他にはプレイに対して目線の当て方が常に後手後手になっているのでふきこぼしがあることにも気づくことができた。</p> <p>二日目では初日の反省を生かして目的をもった動きや目の当て方を意識して吹くことができた。常に予測しておくことで動きまわったり、ずっとつたっているだけということがなくなったと思う。展開が変わるプレーとプレーの間に「あそび」の足を入れることで自然なレフェリングができることがわかった。</p> <p>この二日間でたくさんのことを学んだ。県内でのレフェリー活動でも意識して、次の四国大会につながるようにしたいと感じている。意識あるのみ！</p> |
|---|---|

審判員派遣報告書

| | | | |
|---|-------------------------|---|----------------------------|
| 1 | 派遣事業名 四国社会人バスケットボール交流大会 | 2 | 派遣期日 平成28年5月7日(土) 8日(日) |
| 3 | 報告者名 菅 由佳里 (クラブ連) | 4 | 派遣先 今治市営大西体育館 |

| | | | | | |
|------------------------|---|----------------------|------|--------------------|---|
| 5 大会概要 および 大会結果 | | | | | |
| 大会名称 | 四国社会人バスケットボール交流大会 | | 大会期間 | 2016.5.7~5.8 | |
| 大会内容 | <p>例年香川県で行われているまんてがんカップ開催の中止に伴い行われた大会である。</p> <p>参加チームは四国のクラブの上位チームであるUNITEや明善クラブそして実業団の東レ・四国電力・今治オレンジブロッサムというチームが集まりレベルも少し高く男子5チーム、女子5チームが総当たりのリーグ戦を行った。</p> <p>運営面においては四国のクラブ連盟所属の審判員が集まり、その中にはブロック講習生もいたりしてお互いを高めあひよい刺激となった。</p> | | | | |
| 6 担当したGame | | | | | |
| No | 期日 | 対戦カード | R/U | 相手審判 | ゲーム雑感 |
| 1 | 5月7日 (土) | 女子: オレンジブロッサム対らんずクラブ | U | 谷 隆生 (高知) | 試合開始とともにブロッサムが体格とスピードを生かし得点を重ねる。らんずクラブはDEFで粘り速攻で流れをつかもうとするがブロッサムの体格とスピードにはまされず試合終了。 |
| 2 | 5月8日 (日) | 男子: 東レ愛媛対四国電力 | U2 | 藤田侑二郎(愛媛) 川村貴昭(愛媛) | 人数が多い東レとスタートの殆どがケガをして人数が少ない四電。東レが試合開始から長身センターにボールを集め得点を重ねる。四電も必死にリバウンドに喰らいついたりするも流れは変わらず東レの勝利で試合終了。 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |

| | |
|----------|--|
| 7 | <p>審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等</p> <p>四国社会人交流大会で担当させていただいた二試合を通してミーティングをしていただいたことと反省点を3つにまとめると</p> <p>まず1つ目は、トレイルの見方である。</p> <p>3Pを確認した後のリバウンドを確認する際に体の角度しか変えていないので 1歩2歩でもいいので足を確認して動くこと。何を見るか誰を見るか目的をはっきり持って動くこと。</p> <p>リバウンドの際飛び込みリバウンドやリバウンドルーズに対する準備が遅いこと。</p> <p>2つ目はリードの入り方である。</p> <p>どのような場合でもリードに入るスピードが同じなので 例えば速攻の時は速くというようにボールを追いかけるときは常に危機感を持つこと。 また角度を変えてみたり工夫が必要だということ。</p> <p>3つ目はスリーパーソンの際のメカニックの理解である。</p> <p>日頃あまり行う機会がなかったのととても勉強になった。</p> <p>カンファレンスで動きの確認を入念にしてゲームにのぞんだのだが、ボールサイドツウということでセンターとリードが目合わせる工夫をしたり自分自身が受けるプレイはもっと積極的に判定をしなければならなかったと感じる。もう一度マニュアルを読んで勉強し実技でもしっかり勉強していきたい。</p> <p>今回参加させていただき多くの刺激を受けることができた。初めて会う他県のクラブ連盟の審判員の方々そしてブロック講習生の方。一緒に審判をさせていただいたり見たりすることで多くのことが学べたと思う。その中で感じたことは日頃の取り組みの大切さである。 県内外関わらず審判をした際に毎回感じていることである。正しい判定や正しい位置取りを積み重ねていくこと。そして今以上に自身の取り組みを見つめなおし日々精進すること。そしてこの経験を還元できるよう自信と謙虚さと感謝の気持ちをもちこれからも活動していきたい。また恵まれたことに香川県には指導してくれる上級に方がたくさんいるのでこのことを当たり前だと思わず日々感謝をして活動しなければならないと思う。 県内の大会県外の大会を経験だけで終わるのではなく経験を必ずプラスに変えていきたい。</p> |
|----------|--|

審判員派遣報告書

| | | | |
|---|--------------------------------------|---|---------------------|
| 1 | 派遣事業名 四国クラブバスケットボール連盟 第一回審判講習会 | 2 | 派遣期日 平成28年5月7日8日 |
| 3 | 報告者名 藤原 紘子 | 4 | 派遣先 今治大西体育館 |

| | | | |
|------|---|------|--------------|
| 5 | 大会概要 および 大会結果 | | |
| 大会名称 | 四国クラブバスケットボール連盟第一回審判講習会 | 大会期間 | 平成28年5月7日～8日 |
| 大会内容 | <p>例年のままでگانカップのかわりで、四国クラブ連盟の1回目の交流大会(審判講習会)であった。 参加チームは、男子は東レ、四電、UNITE、大西クラブ、クリッパークラブで、女子はオレンジブロッサム、明善クラブ、高知選抜、カタリナクラブ、らんずクラブだった。全チーム総当たりで行い、四国を代表する実業団とクラブチーム交流大会となった。</p> | | |

| | | | | | |
|----|----------|----------------|-----|----------------------|--|
| 6 | 担当したGame | | | | |
| No | 期日 | 対戦カード | R/U | 相手審判 | ゲーム雑感 |
| 1 | 5月7日 | カタリナクラブーらんずクラブ | R | 後藤氏(高知県) | はじめは、らんずクラブの出だしがよく、20点差をつけるまでだったが、後半の途中からカタリナが追い上げ、最後は一桁の差で終わった。 |
| 2 | 5月8日 | UNITEークリッパー | U1 | 堀内氏(愛媛県) 池田氏(愛媛県) | 男子のゲームらしく、少し出だしからがちゃがちゃとした見どころの多い試合となった。 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |

| | |
|---|---|
| 7 | <p>審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等</p> <p>開講式後の講義では、昨年度全国クラブへ派遣された審判員からの報告があった。ブロック長からもあったように、全国クラブへ派遣されるためには、まずは1回ごとの講習会でチャレンジしていくことが大切であるということがあった。また、そのためには、常に準備をしていくことが大切であると述べられた。また、この2日間では、目標を明確にし、コートでチャレンジする姿勢を大切にしていこうとお話があった。</p> <p>初日のゲームでの、自分の目標は判定の基準を示していくこと、そのために常にいい位置で判定できるよう準備をすることだった。試合後のミーティングでは、基準を示そうしていることがすごく伝わってきたが、試合の中で笛にしたもので、吹かなくてもよいものもあったので、今後は笛を吹かずしておさめていくこともトライしてはどうか、というアドバイスがあった。</p> <p>2日目の割当は男子のゲームを3メンで吹いた。UNITEに大きな選手がおり、その選手に対するプレイを正しくできるよう示していこうと思っていたが、メカニックにとらわれ、プレイをぼんやり見ていたことで判定を怠ってしまったことがあった。ミーティングの中でもあったが、「アウトサイドイン」というリードの見方やセンターからのプレイのとらえ方などは、2メンにも生かせる動きや見方であったので、今後の2メンでの審判にもとりいれてみようと思った。</p> <p>2日間通して感じたことは、自分自身現在ブロック講習生として活動させていただいているが、このような講習会の機会にチャレンジして取り組めるよう、日ごろの準備を今後も続けていこうと思った。また、自分が上級を目指している中で、S級の方と吹く機会があったが、やはりプレイをとらえるのがはやく、そのための位置取りを細かく変えていることを今回再確認できた。自分自身も早い展開のバスケットになっても、細かくプレイをとらえられるように、工夫してみようと思った。また、動きの中で、相手レフリーが困っているかもしれないから、次の動きというような相手に対する気遣いもやはり上級の方は多いように感じた。自分がこれから活動していく中で、判定はもちろんだが、相手に対する気配りもコート内外にかかわらず、意識して取り組んでいこうと思った。</p> |
|---|---|